

1 性の多様性に関する SD 研修会 オンデマンド配信中！

7月9日、順天堂大学大学院医学研究科教授、武田裕子先生を講師にお迎えし、学生・教職員の皆様を対象とした、性の多様性への理解を深めるためのSD研修会「誰一人取り残さない—順天堂医院の取り組みから始まり大学に起きた変化—」を開催いたしました。

当日は会場に33名、Zoomウェビナーにて92名、計125名と多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。

LGBTQ+当事者の割合は9.7%(電通ダイバーシティラボ、2023年調査)という数字が示すように、事前アンケートでも、SOGI(性的指向・性自認)に悩む学生、職員、患者様の対応をしたことがあると回答した方は33%、その対応で困ったこと、迷ったこと、疑問を感じたことがあると回答した方も23%あり、決して少ない数字ではないことがわかります。

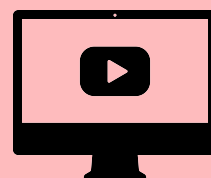
研修会終了後のアンケートでは、講演内容について「大変満足」「やや満足」が100%となり、「理論的な話に留まることなく、順天堂での実際の取り組みが紹介されていたので、何が求められているのかがよく理解できた」「日頃、SOGI(性的指向・性自認)の患者さんへの配慮が足りないと感じることができた」「当事者の声を聞けたことで、受診することのハードルがとても高い状況にあることがよくわかった」「具体的な事例を取り上げていただき、理解しやすかった」「教育者としては、身近

に確実にいらっしゃることを想定した言動が必要だと感じた」などの感想が寄せられました。

一方で、「本学の体制はまだまだ至らない点が多いと感じた」「任意での研修ではなく、組織としての体制、仕組みなどを変えなければ本学は変わらないのではないか」といったご意見も寄せられました。

この度、そのSD研修会の動画をStream配信させていただきますこととなりました。9月30日までの期間限定配信となりますが、大変重要な知識を得る貴重な機会となりますので、ぜひご視聴ください。

引き続き、SOGIに関してダイバーシティ推進センターにて取り組んで参りますので、何かお気づきの点などございましたら、ぜひご連絡ください。



9月30日
まで
期間限定配信！



※本学学生・教職員限定公開となるため
Microsoft365へのログインが必要となります。

2

「2025年ダイバーシティ推進に関する意識・実態アンケート」 結果報告！

今年度も6月18日から7月31日まで「ダイバーシティ推進に関する意識・実態アンケート」を実施し、1,606名の教職員の皆様にご協力いただき、回収率は27.3%でした。日々の業務等でお忙しいところご協力

いただきました教職員の皆様にはこの場を借りて感謝申し上げます。

アンケート結果概要版は、10月にセンターHPに掲載いたしますので、ぜひご確認ください。



ダイバーシティ推進センターでは、出産・育児・介護などのワークライフバランス、将来のキャリアプランや研究活動、ジェンダーに関することなどのご相談を受け付けております。どこに相談したらよいかわからない時は、センターHP相談窓口フォームより、お気軽にお問い合わせください。

